



PROFILE

すずき じろう(下朝比奈) 昭和63年、長野県生まれ
 現在は下朝比奈で妻、3歳の長女、11カ月の長男、両親、祖母の7人で暮らしている。
 世界で活躍する画家になるため、日々絵を描き続けている

☆☆ おまえざきの ☆☆☆ 人 ☆☆☆ きらり輝く人 ☆☆☆

独学の絵画アーティスト
 パリ「ルーヴル美術館」に作品を展示
鈴木次郎 さん



◀鈴木さんが描いた作品などを発信しているインスタグラムの二次元コード

ルーヴル美術館に作品を展示

ルーヴル美術館の地下会場「カルーゼル・ドウ・ルーヴル」で毎年開催されている展示会「サロン・アート・ショッピング・パリ」。世界中のアーティスト、コレクター、メディア、学芸員、一般の人が鑑賞できる同展示会で来年10月、鈴木次郎さんの作品が披露される。

充実した人生を歩みたい

鈴木さんは、自身が絵画アーティストになった経緯を「私は一度、一般企業に入社しましたが、あるとき将来の自分がどのように生きているのかを予測できてしまったんです。このままでは人生を楽しく歩めないと思い、心から熱中できる『何か』を見つけるため、渡航を決意しました。すぐに退職し、オーストラリアやカナダなど6カ国を訪れました。そこで自分らしくありのまま生きるミュージシャンや絵描きに出会い、また豊かな自然が織りなす美しい景色に感動したこと、自分の心を形に具現化して表現する芸術家になることを志すようになった。帰国後、ふ



と絵を描きたいという衝動に駆られました。すぐに100円ショップで道具を買い、絵を描いてみたんです。それがすごく楽しかったんですよ。心から熱中できる『何か』を見つけることができた瞬間でした」と笑顔で振り返る。

これからも絵を描き続けたい

鈴木さんは、将来の目標を「生涯絵を描き続けること。いまは道中を楽しんでいる最中です」と話す。続けて「人は、それぞれ何かの才能の種を持っていきます。それを見つけて育てることで、自分だけの花を咲かせられるということを絵を通じて世界に発信していきたいです」と思いを語った。

外の世界で木漏れ日を浴び、大空を舞うための翼を授かった鈴木さん。これからも光り輝く未来に向かって美しく羽ばたいていく。